

гент (Gent)

光の祭典

3年に1度のイベント『光の祭典 (Lichtfestival)』が1月31日から2月4日までの5日間開催され、гент (Gent蘭/Gand仏)の夜は光の渦に包まれます。毎日19時から始まりますが、最終日の2月4日だけは18時から開始で、特に小さなお子さんにも祭典を楽しんでもらえるように配慮されています。



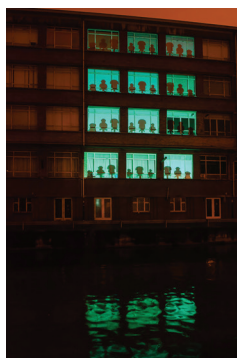
© Thomas Dekiere

世界中から著名な光のアーティストたちがベルギーに集まるだけでなく、新人のアーティストにも参加できるチャンスがあるのです。10月にはгентでコンテスト Videomapping on a tree trunkがあり、応募した60人から選ばれた10人のコンペで優勝した新人Adriaan Deberghも、この祭典で光のアートを見せてくれます。

入場料などは無く、下記サイトの地図の場所に沿って、光の作品が展示されています。
www.google.com/maps/d/viewer?mid=18h87PW049udiAVzhy88gbEUAY40&hl=en_US&ll=51.04855474600207%2C3.7323348900699784&z=15

今年は4つのエリアに区分されていて、2つのエリアは街の歴史が残っている中心地、3つ目のエリアは大学 (UniversiteitGent) の周辺で地図上では下方・南側、4つ目のエリアは街の北側・地図の上方となっています。

前回の祭典に参加した時の経験を紹介しましょう。聖バーフ大聖堂 (Sint-Baafskathedraal) 辺りから歩き始めるのを勧めます。гент駅からトラム1番に乗って街の中心に向かって行くと、聖バーフ大聖堂のそばで下車できます (ほとんどの人が降りる停留所です)。ここから人の流れに沿っ



© Thomas Dekiere

て歩けば、道路が石のブロックで仕切られていて、各作品を鑑賞できるようになっています。

前は64万人もの人がгентを訪れ、40カ所で様々な作品が楽しめたそうです。

この祭典は光の動き、芸術性、ショーのコンビネーションで成り立っています。人との相互作用が楽しめる作品から鑑賞するだけのものまでさまざまな作品が見られます。

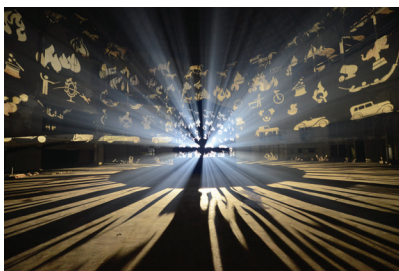


© Stad Gent · Lichtfestival

前回訪れた時に印象に残っているのが、光だけでできているのに、クジラが水面から出てきて水しぶきが上がり、まるで本物のように美しかったプロジェクションマッピングです。

運河に架かる橋全体がライトアップされ、おとぎの国を歩いているような風景。小さなLEDランプだけで作られた教会もありました。土台はパイプか何かだったので、ランプを実際の教会に付けたものではありません。吹きガラスの作品を作るプロセスに、音楽と光を重ねて紹介するイベントもあります。

当日は非常に寒く、雪もちらついていたので、2つのエリアを見た後は、川に浮かぶボートカフェに飛び込み、ホットチョコレートで身体を温めたいです。1年で一番寒い時期ですので、暖かい服装は必須、歩きやすい靴で出かけるのが良いでしょう。



© Stad Gent · Lichtfestival

この期間は交通規制が厳しくなるので、駐車場に入れるかどうかは分かりません。電車のгент駅からトラム1番で街に入るか、車でお越しの方は、Flanders Expoに車を止めて、そこからトラム1番で街の中心にお越しください。гент駅の地下にも駐車場がありますが、駐車できない可能性もありますので、混雑を回避するならFlanders Expoの方が確実です。

3年に一度しかないこのイベント。期間も短く、これを逃したら次回は3年後です。混雑と寒さを覚悟して(!)、この素晴らしい光の祭典を訪れてみてはいかがでしょうか？

Lichtfestival Gent 2018

<https://lichtfestival.stad.gent>

1/31 (水) ~ 2/3 (土) 19h ~ 24h、2/4 (日) 18h ~ 24h